

突然、足に紫色のポツポツができました
IgA血管炎の可能性がります
中野皮膚科クリニック
<http://www.nakano-derma.com/>



紫色の発疹とともに腹痛や関節痛などを併発します

足などに突然、ぼつぼつとした紫色の発疹ができるIgA血管炎。その症状と治療法について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

「どんな病気ですか？」
「IgA血管炎は4歳〜7歳の小児に発症することが多く、特に男の子に多く見られる疾患です。真皮の浅いところに」

ある細い血管が炎症をおこしてぼつぼつ盛り上がりのある紫斑ができません。皮膚症状に痛みやかゆみはありませんが、関節痛や腹痛、大人の場合には腎障害など内臓疾患を併発することがあります。

「治療法は？」
「紫斑ができる病気はほかにもあるので、まずは血液検査を行い、必要があれば生検して鑑別診断をします。皮膚生検すると血管壁にIgAの付着がみられます。血管の炎症なので、安静にすることが大事です。軽症の場合は安静にしていれば数日間自然に治ることもあります。安静にしても治らない場合はトランネキサム酸やステロイドなど、症状や重症度に合わせて2〜3週間服薬します。腎障害を併発するようなら重篤な症状があれば入院して治療することもあります。いずれにしても、早めに皮膚科を受診して病気を特定することが大切です」

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)



問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	12:00 まで受付
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師